

今回は、担任の先生方のアシスタントとしての立場をわきまえ、先生方を陰ながら支え、担任主導の授業のALTとして活躍されている安達さんの実践報告です。



安達千華

大分県の国際交流協会で県内の在住外国人のサポートに携わる仕事、及び英会話教室で小・中学生に英語の指導をしたのち、大分県由布市のALTとして市内の小学校に勤務。学校に勤務する中で、自らの指導に迷いが生じたため自分の指導力を証明するためにJ-SHINEの小学校英語指導者資格を取得。その後上級指導者資格を取得。

J-SHINE 通信

2017年3月号

■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

小学校現場で働く前は、大分県国際交流協会の職員として、県内の在住外国人のサポートをする仕事をしていました。そのときの人のつながりもあって、由布市内の小学校現場でALTが不足していると私に声がかかり、小学校に勤務することになりました。しかし、小学校での外国語活動に関する知識を独学で取得したので、果たして私の指導方法が正しいのかどうか日々葛藤していました。そこで資格を取得することによって、私の指導力を証明することができると考え、J-SHINEの資格を取得することにしました。資格を取得することができた結果、私にとって自信につながっただけではなく、外国語活動についての正しい知識を身につけることができました。その後、現場での活動をもとに、必要指導時間数に達したので、J-SHINEに上級指導者資格を申請し、資格を得ることができました。

英語関係の仕事をしたいという日本人から、どのようにして小学校に勤務することになったのかと、たびたび尋ねられることがあります。小学校に勤務するにはJ-SHINEの資格がなくても大丈夫ですが、J-SHINE講座を受講して小学校での英語指導のノウハウを勉強し、資格を取得しておいた方が良いに越したことはありません。最近では各市町村単独で外国語活動のアシスタントを募集している教育委員会も多くありますので、欠員などが出れば応募することができるかと思います。そのためには、常に市町村教育委員会の採用情報についてチェックすることも大切だと思います。私の知り合いは直接、教育委員会に出向き、ALTもしくはJTEの空きがいつであるのかなどを情報収集したことにより、その採用試験に応募して合格した人がいます。平成30年度から外国語活動が先行実施することで、ALT等の配置拡大をしているところがあると思うので、こうした情報収集などに一歩踏み出してみるのもよいかもしれません。一度踏み込むと色々なネットワークでつながり、自分の活動もきっと広がると思います。

■ 現在の活動状況

私は由布市から採用されていますので、他の正規の先生方と同様に、常勤で市から給与が支給されています。外国語活動が学校で導入された当初は、現場の先生方は戸惑いからALTに任せというスタイルが多かったのですが、現在では原則、担任主導でALTがアシスタントという形になってきています。子どもの様子が一番知っている担任の先生が主導権を握らなければ、学級のコントロールができないときがあるので、担任の先生にはTTをお願いしています。

しかし、担任の先生の中には英語に自信がないため、「英語を話さなくて申し訳ない」とおっしゃる先生がいますが、極論を言えば、正確で流ちょうな英語を話さなくていいと思います。担任の先生は単年で使う英語を一生懸命声に出して、かつ楽しんで使うことが大切だと思います。担任の先生が授業の初めから終わりまで英語で話し、さらにALTの私も英語を話すことになれば、英語の文法や単語を知らない子どもたちにとっては何を言っているのかわからず、ただ不安が残ることになるだけだと思います。このため、担任の先生は、今日は何をするのか、また、どのようにして授業に取りかかるのかなどといった大切なところについては日本語で



話し、また、その中で子どもたちが分かるクラスルームイングリッシュを使えばいいと思います。こうすることにより、子どもたちも担任の先生が片言の英語で話すことによって、自分たちも英語を使ってみようかなと思い、先生のマネをすることで、クラス全体が外国語活動に積極的に取り組むことができるようになるのではないかと思います。

あくまでも私のポジションは「アシスタント」という立場なので、前に出過ぎず、なおかつ、裏で支えるという役割だと思っています。この仕事を通して、子どもたちから「英語はわからない未知の世界だと思っていたけれど、楽しくもっと使ってみたいと思った」などの声を聞くことで、やりがいを強く感じています。



■今後の展望、課題、目標

J-SHINEの資格を取得する際に受講した松香洋子氏（(株) mpi 松香フォニックス会長）の言葉が、今でも心に残っています。外国語活動において、色々な教具を作ることはいいこと。でも、必要最低限のカードがあれば十分。しかし、本当にできる指導者というのは、教具なしで、即興でアクティビティができる人である。実際、その講義で松香氏からは、教具なしで簡単に楽しめるアクティビティを教えてくださいました。このことを常に心がけ、外国語活動のアシスタントとして、自分なりにできることをしています。

今後は、教科になる外国語活動に不安に思っている先生が多くいます。そのような先生の不安を取り除くためにも、私としてもそれらを解消する助言、お手伝いができたらと思っています。

* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2017 年 3 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>

今月の花 桜